

歯ブラシに関する事故再現実験（案）

1 目的

歯ブラシに関する子供の事故事例等を踏まえ、子供が歯ブラシをくわえたまま転倒し、口腔内を受傷する再現実験等を行い、問題点と課題を分析する。

2 調査実施機関

国立研究開発法人産業技術総合研究所人間情報研究部門

3 実験内容

(1) 子供が転倒した時にかかる力と歯ブラシ等による口腔内の被害状況の確認

子供の頭部や転倒高さを考慮し、転倒時に加わる力を歯ブラシで鶏肉等に与え、口腔内を模擬した鶏肉への刺さり具合を観察する。

また、子供が手にし、口にくわえる可能性のある日用品（フォークなど）についても実験する。

・ 実験条件

- ① 子供の年齢 : 1、3歳
- ② 姿勢 : 立っている状態、座っている状態
- ③ 口腔内の再現 : 堅い板状のものに鶏肉を載せ、咽喉部を再現
- ④ 歯ブラシ : A 通常の子供用の歯ブラシ、
B 頸部（ネック）が曲がる子供用の歯ブラシ、
C 先端が柔らかい素材の子供用の歯ブラシ
D その他子供が使用する日用品（フォークなど）

	1歳	3歳
立っている状態	歯ブラシ A・B・C・D	歯ブラシ A・B・C・D
座っている状態	歯ブラシ A・B・C・D	歯ブラシ A・B・C・D

(2) 誤飲チェッカーによる子供用の歯ブラシ等の喉突きの検証

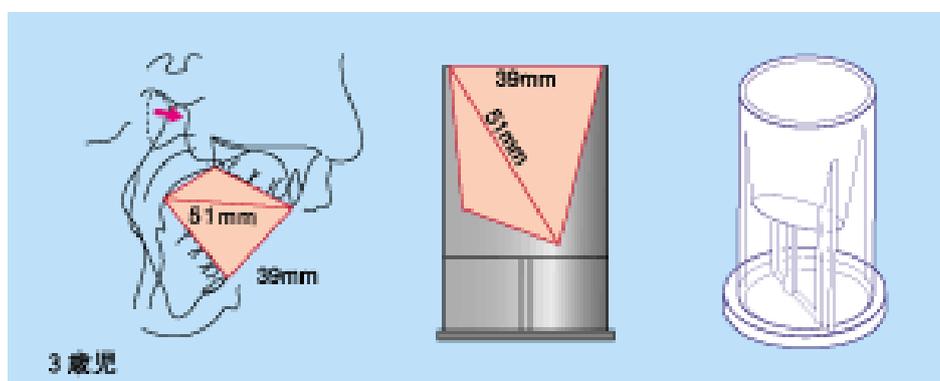
誤飲チェッカーを使用し、歯ブラシ及びその他子供が口にくわえる可能性のある日用品（フォークなど）が口腔内を傷つけたり、刺したりする可能性を評価する。

・ 実験条件

① 誤飲チェッカー：誤飲・窒息防止教材（透明アクリル製）

（監修）緑園こどもクリニック院長 山中龍宏

朝日大学歯学部教授 田村康夫



② 歯ブラシ

：通常の子供用の歯ブラシ、
リング型の子供用の歯ブラシ、
喉突き防止プレート付きの子供用の歯ブラシ等
その他子供が使用する日用品（フォークなど）